令和元年度(2019年度) 第1回運営委員会 参考資料②

## <事業計画書>

## 5 事業計画書

実施年度	令和元(2019) 年度
事業名	地域と NPO とのコラボ DE まちづくり推進事業
事業期間	令和元 (2019) 年 5 月 ~ 令和 2 (2020) 年 I 月
事業の目的	社会情勢の変化に伴い、多様化する市民ニーズに応える NPO 活動団体の活躍が期待されているが、(略)
	(事業の概要) ※250 文字程度で記入してください。 地域の担い手不足や単身世帯の地域での孤立など、社会情勢の変化に伴い、地域 を取り巻く課題はどんどん多様化しています。そこで、(略) 事業   課題を解決する意見交換会
	テーマごとに5回に分けて開催
	(子育て、高齢者見守り、防犯・防災、まちづくり等)
具体的な	①日時:7月から11月まで 毎月1回
	②場所:国際交流会館・会議室
事業内容	③講師(ファシリテーター):まちづくり活動法人 代表〇〇氏
	④対象者:I回の開催につき、NPO 活動者 5名、地域市民30名程度
	⑤広報先:各まちづくりセンター(I7箇所)、あいぽーとにチラシ配布
	(計 2,000 枚)
	テーマ分野のNPO活動者に郵送(50 団体×5 回=250 通)
	事業2 NPO 活動によるまちづくりの手引き(略)
実施場所	国際交流会館・会議室(事業Ⅰ)
協力団体	協賛:まちづくりセンター 協力:NPO 法人××、××ボランティア会
事業の効果 ・公益性	当事業を通して地域と NPO 活動団体の連携を図ることにより、その後の協働でまちづくりを行うための(略)
次年度以降の 事業展望	翌年度に NPO 活動団体がどのように地域と協働していくことができたか、その成果と課題を振り返る報告・交流会を実施し、新たな協働への足掛かりとする。
事業への想い (当事業によって どのような熊本市 にしていきたい か)	熊本市には、様々な分野で積極的に活動する NPO 団体が数多くある。また。人口 70 万人を超える大都市となった熊本市は、行政だけでは解決できない多種多様な課題を抱えている。これらを結びつけることで、地域と NPO 団体がともに助け合う「市民の手によるまちづくり」の実現を目指していきたい。